

海外安全対策情報（平成27年1月～3月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシでは反体制派による集会やデモが定期的に行われており、ベラルーシ当局との衝突や参加者が拘束されるケースも発生しています。不測の事態を避けるため、集会やデモに興味本位で参加したり、近づいたりすることは控えてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2015年1月1日から3月31日までのベラルーシにおける犯罪総数は23,292件で、昨年同時期と比較し2.9%増加しています。未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗	9,261件（前年比0.3%増）
（うち住宅対象侵入窃盗）	2,702件（同3.8%増）
イ 公然窃盗	597件（同0.7%増）
ウ 恐喝	38件（同26.7%増）
エ 詐欺	840件（同22.3%減）
オ フーリガン犯罪	919件（同42.7%増）
カ 殺人及び殺人未遂	102件（同9.7%減）
キ 重傷傷害	225件（同10.7%減）
ク 強盗	77件（同14.9%増）
ケ 強姦及び強姦未遂	28件（同9.7%減）

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2015年1月～3月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 1月1日、グロドノ州ヴォルコヴィスクにて27歳の男が知人男性をハンマーで殴打するなど暴行した後、車のトランクに監禁した。1月2日、容疑者はグロドノ州スロニムにて拘束され、被害者は解放された。被害者は現在治療中で、容疑者は取り調べを受けている。

イ 1月7日夜、ミンスク市フルンゼンスキー地区カメノゴルスキー通りにて、自宅の窓越しに発砲を受けた住民から警察に通報があった。通報者宅の向かいの家からエアガンが見つかり、住人であるミンスク市内の大学に通うスルツク市出身の20歳の若者がフーリガン行為で拘束された。容疑者はホームパーティーの後、エアガンを用いた余興をしていたことが分かり、血中から0.16%のアルコールが検出された。

ウ 1月11日深夜、ミンスク市にて男が帰宅途中の女性を暴行し、鞆を奪い逃走した。自宅アパートの共有玄関に入ったところで被害に遭った女性は、インターフォンで夫に一連の出来事を伝えた。被害者の夫は、雪に残った足跡を追い、被害者の伝えた人相を元に容疑者を捕まえ、その付近にいた警備員に警察への通報を要請した。警察による取り調べの結果、被害者の携帯電話や金品が見つかり、犯人は容疑を認めた。また、この犯人がミンスク市内で起こった他の事件にも関与していることが判明した。

エ 1月13日の報道によれば、ミンスク市プレハノヴァ通りとロコソフスコヴォ大通りの交差点に位置する地下道（中心部より南東約7km）にて、35歳の男が女性の喉元にナイフを突きつけ、自身についてくるよう脅迫した。女性は犯人の要求を拒否し、その場にした通行人に助けを求めたが、通行人は何の反応も見せなかった。しかし、犯人が通行人に気を取られたため、女性は腕にけがを負ったものの、逃げ出すことに成功した。翌日、犯人は拘束された。犯人は窃盗で裁判を受けたことが有り、精神神経療養所で経過観察中であることが分かった。

オ 1月20日午後5時頃、ミンスク市独立大通りに位置する宝石店「Ziko」で25-30歳の男が店員の腰あたりをナイフで刺し、商品の強奪をはかったが、被害者の同僚と客が反抗したため、犯人は逃走した。現在も事件は捜査中である。

カ 1月21日ミンスク市にて、2人組の男が、扉が施錠されていなかった家に侵入し、住人に暴行を加え、5,600米ドルを奪った。被害者が警察に通報し、捜査の結果、犯人は拘束された。被害者は病院で治療を受けている。

キ 1月22日ミンスク市にて、48歳の男性が、タバコをくれなかったことを理由に殺された。遺体はモスコフスキー地区で通行人により発見され、犯人である23歳の若者はすぐに特定され拘束された。犯人は連続車上荒らし事件にも関与していることが分かった。犯人は故意の重度傷害と窃盗の罪で起訴されている。

ク 2月15日ミンスク市にて、貨幣収集家の男性が収集家イベントに参加した後にペルヴォマイルスキー地区にある自宅に帰った際、共有玄関前で待ち受けていた46歳の男に頭部を数回にわたって殴打された。犯人はコレクションの入った鞆を奪い、逃走を図ったが、被害者の叫び声を聞いた隣人らに取り押さえられた。

ケ 2月17日の報道によれば、ミンスク市にて、3人の住民が査証の虚偽申請及び他人への販売を行ったことが分かった。犯人らは、申請人は歴史クラブのメンバーであり、様々なイベントに参加するために査証が必要であるとの口実でリトアニア大使館とポーランド

大使館にシェンゲン数次査証を虚偽申請した。犯人らが入手した査証は 20～200 ユーロで取引され、すでに同様の取引が 26 回あったことが判明した。

コ 2月21日ポリソフ市にて、酒に酔った43歳の男が飲食店の店員をライフル銃で脅し、金品を要求した。犯人は防犯スイッチによる通報を受けた警察によって拘束され、武器も押収された。

サ 2月26日ポブルイスクの食料品店にて、酒に酔った男が商品の会計をしていた際に、女性職員と口論になった。口論の最中、男がエアガンを見せたため、女性店員は警備員に対応を頼んだが、男は警備員に対して2発発砲した。警備員は目と耳を負傷した。犯人は逃走をはかったが、警備局の職員により拘束された。

シ 2月26日グロドノ州ヴォルコヴィスクにて、目抜き帽を被った男が家屋に侵入し、家にいた少女に対し、殺害すると脅した上で金品を要求した。この要求を少女が拒否したため、犯人は工具で少女の頭部を数回殴打した。その後、家の中を物色し、金製の装飾品4点と1,400米ドルを盗み、林の中に逃走した。事件は現在捜査中である。

ス 2月27日ミンスク市にて、マンションの購入を検討していたロシア人男性が、部屋の見学のために共有玄関へ入った際に覆面を被った2人の男に暴行を受け、48,500米ドルを奪われた。実行犯2人と共犯者1人はすぐに身元が特定され、拘束された。犯人らの供述によると、犯行は以前から計画されていたもので、マンションの部屋も犯人らが犯行前に借りた賃貸物件であった。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述事案は全体の一部の情報です。定期的に報道等を確認し、自身の安全確保に努めてください。